

カナダにおける規制の政策評価に関する調査研究【事例3】

事例名：西洋コーラスカエル保護に向けた緊急指令

カナダ政府機関名：環境省

影響度：中

(参考)

影響度	年間コスト	影響評価方法
高	1,000万カナダドル以上	定量化かつ金銭価値化が必要
中	100万～1,000万カナダドル	定量化(金銭価値化不要)
低	100万カナダドル以下	定性的に評価

【課題】

西洋コーラスカエルの主な生息地であるオンタリオ州南部・ケベック州南西部において、都市化等の影響により自然破壊や環境変化が起きているため、保護政策を取らない場合は2030年までに同種が絶滅してしまうリスクが予想されている。

【規制新設の内容】

カナダ絶滅危惧種法に基づき西洋コーラスカエルの種の保存に関する緊急指令を発行し、ケベック州にまたがる西洋コーラスカエルの生息地の一部に、土砂の運搬や建設を禁止する保護地区の領域を導入

【費用：9,400,000カナダドル（10年間）】

①保護地区の設置により、利便性が下がることで起こる地価の減少による損失：780万カナダドル

先行研究（造園と住宅の価値：実証的調査）の文献調査により算出される土地の価値を基準とし、地価について、50%、85%、95%で感度分析※を行い、地価の85%の減少が適切かを検討。

※ 変数が現在の値に与える影響を分析する方法

②保護区域内及び周辺に居住するはずの住民の減少等により、保護地区周辺に存在する地方自治体のインフラ施設の価値の減少による損失：160万カナダドル

先行研究（オープンスペースが住宅の価値に与える影響）の文献調査により算出される価値を基準とし、現状の価値を基準に50%の増加及び減少した場合のコストに関して感度分析を行い、平均の値を使用。

【便益：約68,000～78,000カナダドル+定性的（年間）】

<定性的な便益>

- ・生物多様性の観点から、健全な生態系につながる。
- ・西洋コーラスカエルの存在は生態系や気候変動の指標。
- ・西洋コーラスカエルの鳴き声はカナダ国民の癒しにつながる。
- ・個体や遺伝情報は、将来的に医薬品の開発等に使用される可能性もある。

<定量化された便益>

- ・保護地区内に存在する湿地が保護されることにより、西洋コーラスカエルに限らず生態系保護のコベネフィットが発生
約68,000～78,000カナダドル（年間）
＝約3,500～4,000カナダドル（1ヘクタール当たりケベック南部の湿地の価値）×19ヘクタール（保護地区内の湿地面積）

先行研究（ケベック州における湿地の価値：条件付き評価と選択実験の比較）を基に、湿地の存在価値を算出